

八千代市教育委員会会議録
令和6年度第6回定例会

1 日 時 令和6年9月18日（水）
開 会 午後1時30分
閉 会 午後1時46分

2 場 所 教育委員会庁舎大会議室

3 出 席 者

教 育 長	小 林 伸 夫
委 員	石 井 伸 一
委 員	川 嶋 一 永
委 員	左 海 尚 子
委 員	三 橋 洋 子

（説明員）

教 育 次 長	高 原 敬 介
（ 学 校 担 当 ）	

教 育 次 長	伊 藤 栄 治
（ 社 会 教 育 担 当 ）	

教 育 総 務 課 長	渡 邊 久 貢
-------------	---------

学 務 課 長	兒 玉 健 司
---------	---------

指 導 課 長	加 藤 英 昭
---------	---------

教育センター所長	向 智 広
----------	-------

保 健 体 育 課 長	宗 像 洋
-------------	-------

生涯学習振興課長	井 澤 延 浩
----------	---------

（書記）

教 育 総 務 課 主 査	中 尾 通 彦
---------------	---------

教 育 総 務 課 主 査 補	菅 田 菜 摘
-----------------	---------

4 開 会

○小林教育長 会議に先立ち、本日2名の方から傍聴の申し出がありました

ので、お知らせいたします。

ただいまから、定例教育委員会を開会いたします。八千代市教育委員会会議規則第20条の2の規定により、議事の進行を行う委員の指名を行います。教育長において、川嶋委員を指名いたします。川嶋委員よろしく願いいたします。

5 会議録署名人の指定

○川嶋委員 それでは、会議録署名人の指定を行います。小林教育長のほかに、三橋委員にお願いしたいと思います。

○三橋委員 はい。

6 令和6年度教育委員会第1回臨時会及び第5回定例会会議録の承認

○川嶋委員 次に、令和6年度教育委員会第1回臨時会会議録の承認について、質疑ございませんか。

質疑なしと認めます。

それでは、お諮りいたします。令和6年度教育委員会第1回臨時会会議録を承認することに、御異議ございませんか。

御異議なしと認め、令和6年度教育委員会第1回臨時会会議録は承認されました。

続いて、令和6年度教育委員会第5回定例会会議録の承認について、質疑ございませんか。

質疑なしと認めます。

それでは、お諮りいたします。令和6年度教育委員会第5回定例会会議録を承認することに、御異議ございませんか。

御異議なしと認め、令和6年度教育委員会第5回定例会会議録は承認されました。

なお、議案第2号令和6年度八千代市一般会計補正予算（第3号）案について、議案第3号議決事件の一部変更について及び議案第4号職員の任免について、の審議は非公開といたしました。議案第2号及び第3号については市議会が開会し、既に公表されている内容となったため、議案第4号については会議録に個人情報を含む内容はないことから、この議事の記録を公表することに御異議ございませんか。

御異議なしと認めます。

続いて、令和6年度教育委員会第2回定例会議案第3号令和6年度教科用図書葛南東部採択地区協議会規約の制定について、は非公開で審議いたしました。採択した教科用図書名とともに同規約も既に公表されている内容のため、この議事の記録を公表することに御異議ございませんか。

御異議なしと認めます。

次に、教育長報告をお願いいたします。

7 報告事項

○小林教育長 定例教育委員会教育長報告は、3項目ございます。

はじめに、第17回八千代子どもサミットについてご報告いたします。8月1日に2024夏 第17回八千代子どもサミットを開催いたしました。このサミットは、学校のリーダーたちが一堂に会し、これからの八千代市について積極的に話し合い地域の一員として主体的に活動することを目的として、平成26年度から実施しております。

今年度は「相手への尊重」をテーマに、学校代表者が各校の取組を紹介したり、地域の方と交流し意見を述べ合ったりすることができました。今後、さらに学校や地区ごとの活動を充実させ、連携を深められるよう取組を継続してまいります。

次に、第10回八千代教育サミットについてご報告いたします。8月5日に八千代市市民会館において、第10回八千代教育サミットを開催いたしました。このサミットは「教育を核とした地域社会の構築」を図ることを目的として、平成26年度から実施しており、今年度は「未来を担う力を育む学校の在り方～未来を担う力を育む授業づくりについて考える～」をテーマに、市内の公立小中義務教育学校、県立高等学校、私立中学校・高等学校、県立八千代特別支援学校それぞれの学校の校長、そして、秀明大学の関係者が集まり、グループディスカッションの中で熱のこもった議論を展開しました。また市内幼稚園の理事長をお招きして話題提供をいただき、パネルディスカッションも実施いたしました。今後、さらに連携を深められるよう、内容の充実を図ってまいります。

最後に、八千代市科学作品展についてご報告いたします。9月14日・15日にオーエンス八千代市民ギャラリーにて令和6年度八千代市科学作品展を開催いたしました。2日間の来場者数は、1,730名でした。なお、優秀作品19点を八千代市代表作品として、県の科学作品展に出品いたします。

以上で、報告を終わります。

○川嶋委員 ただいまの報告につきまして、質問ございませんか。

○石井委員 質問ではありませんが、子どもサミットについて一言感想を申し上げます。様々な職業の方や外国の方、地域の方とのディスカッションでは中学生達がリードして、小学生が一生懸命質問している光景がとても頼もしかったです。コロナでしばらく中止されていたものですから、やっと開催できたのが本当に嬉しかったです。今年は例年と雰囲気の違い、外国の方の参加が多く、とても流暢な日本語で思いを語ってくださったのがとても印象的でした。

以前より子どもサミットに対して、毎年同じ感想を述べていましたが、それはこのディスカッションで話し合ったことを、このサミットで終わらせず各学校に持ち帰り、皆と共有してほしいということです。今年は、ある地区のリーダーがディスカッションの折に、「皆さんから伺ったお話や思いを各学校に持ち帰り、話し合います」と言ってくれました。生徒の方からこういった意見がでたのがとても嬉しかったです。子どもサミットに参加できなかった児童・生徒にも会場の雰囲気や熱い思いが伝わることを、今回はとても期待しています。2学期にどういう展開になるのかも楽しみにしています。

○川嶋委員 他に質問ございませんか。

質問なしと認めます。

次に各課報告をお願いします。

○学務課長 第1回「（仮称）みどりが丘小学校分離新設校」設立準備委員会の開催について御報告いたします。

西八千代地区の児童数増加に伴い、みどりが丘小学校の過大規模を解消するため、「みどりが丘小学校の分離新設校」を令和8年4月に開校する予定で様々な準備を進めてきております。そうした中でこの度、「（仮称）みどりが丘小学校分離新設校設立準備委員会」を立ち上げ、第1回の会議を8月31日土曜日に開催したので御報告いたします。

当日は、委員長・副委員長の選出を行い、委員長は高津・緑が丘地域学校協働本部の統括コーディネーターの佐々木俊一氏、副委員長にはみどりが丘小学校の瀬口朗子校長に決まりました。委員会の目的や活動内容、組織の位置付け等を確認し、作業部会からの説明を行い質問を受けました。今回、アンケートを配布する形で、設立準備委員の皆様の考えや意向を伺い、その回

答を基に各作業部会で案を整え、今後、委員会に提案し、ご議論いただく予定としております。なお、第2回設立準備委員会は10月から11月に開催を予定しております。

以上で報告を終わります。

○指導課長 指導課からは、2項目、御報告いたします。

はじめに、第38回学校美術館スケッチ展について御報告いたします。

これまで「児童・生徒の豊かな情操を養い、図工・美術教育の充実を図る」ことを目的として開催してきました。

今年度は小中義務教育学校から合わせて1,478点の優れた作品が出品されました。厳正な審査のもと、教育長賞に29点の作品が選ばれ、8月30日に教育長賞受賞者とその保護者等で表彰式を行いました。その他、学校美術館賞に40点、特選に205点、入選に411点が優秀作品として選ばれ、学校を通して賞状を授与する予定です。3日間の開催で、4,417人の来場者がありました。

次に、特別支援教育講演会について御報告いたします。8月28日水曜日に八千代市市民会館小ホールで行い、参加者は125名でした。講師は、あべこどもクリニック院長、阿部啓次郎先生による「発達障害の子どもへの合理的配慮とは」をテーマに御講演いただきました。子どもの特性への理解と合理的配慮、具体的な支援の方法等について御指導いただき、貴重な学びの時間となりました。

以上で報告を終わります。

○教育センター所長 教育センターから、教職員の夏季研修会について御報告いたします。

今年度の夏季研修会は「学び続ける教職員～今求められている教育の実現に向けて～」をテーマに7月26日、及び8月23日の2日間で実施いたしました。本年度も、学習指導要領の理念を踏まえ、教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成を目指した研修を計画しました。詳細については、資料を御覧ください。研修の様子を撮影した写真からも伝わってくる通り、すべての研修会場で、教職員ができるだけ多くのことを学び取ろうと意欲的に研修に取り組む姿が見られました。

以上で報告を終わります。

○生涯学習振興課長 生涯学習振興課から、8月23日、セントラルスポー

ツ生涯学習プラザ多目的ホールにおいて開催しました「令和6年度家庭教育講座」について、御報告いたします。

お手元の資料2を御覧ください。4歳から小学校低学年くらいまでのお子さまと保護者を対象に「親子であそぼう！～こどもの世界が広がる遊びとおとなの関わり方～」と題し、こどもの育ちとあそびの専門家、しみずみえ氏に講座を行っていただきました。当日は9組22名が参加いたしました。

参加者からは、「遊びを通して“ワクワクする事→集中する→それが結果、学びにつながる”と知りました。」など多くの感想をいただきました。

私からの報告は、以上となります。

○川嶋委員 ただいまの報告につきまして、質問ございませんか。

○石井委員 第1回「（仮称）みどりが丘小学校分離新設校」設立準備委員会の開催についてお聞きします。作業部会が設定されているとのことだが、今回の設立準備委員会は、どのような仕組みとなっているかもう少し具体的に教えてください。

○学務課長 設立準備委員会の本体は、12名の設立準備委員で構成され、全体の事務局を学務課が務めます。また、委員の意向や意見を基に、協議を進めていくための案を作成・提示する組織として、A部会（教育環境の充実・安全、B部会（学校運営）、C部会（保護者・地域連携）の3つの部会を置くつもりとしています。また、A部会は教育総務課と保健体育課、B部会は指導課と教育センター、C部会は生涯学習振興課と青少年センターが担当し、必要または希望に応じて設立準備委員会の委員の方々にも参加いただく形としています。

○川嶋委員 当日の委員会では、委員からはどのような話がありましたか。

○学務課長 当日は、B部会、教育総務課から「施設設備面」、保健体育課から「通学安全面」についての現状説明を少し詳しく行いました。このことから、委員の皆様から、これらに係る内容の質問や意見を多くいただいたところです。中でも、通学路の整備に係る内容については、「子供たちの安全が気になる場所を特定し、実際に県の土木事務所や警察に要望を伝え、具体的な検討が進んでいるとの話を聞いて安心した」との声もいただきました。

○三橋委員 夏季研修会についてお伺いします。教科中心ではなく、教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成を目指した研修となったのでしょうか。

○教育センター所長 現在、学習指導要領では、教科横断的な資質・能力を児

童生徒に育むことが、求められております。そこで、まず教職員に、これまで行っていた教科中心の知識・技能的な研修から思考力・表現力を中心とした資質・能力を育む研修を行う必要があると考え、昨年度から資質・能力ベースの研修といたしました。具体的には、「ICT活用研修」「不登校児童生徒支援研修」「学級づくり研修」「学力学習状況調査結果の活用研修」「特別支援教育の研修」というふうに教科を中心としたものから、全てのものに統合した力を育むような研修となっております。学校教育のあらゆる場面で活用できる力を育んでもらいたいという願いから、資質能力の育成を目指した研修を昨年度より行っております。

○左海委員 夏季研修会の参加者からは、どのような感想がありましたか。

○教育センター所長 参加者からの感想を紹介させていただきます。子どもも自分も大切にするコミュニケーション研修では、「とても分かりやすい内容で、自分の凝り固まった思考をほぐしていただいた感じがした。」、特別支援研修では、「こういう視点もあるんだ。“なるほど”と視野が広がり、新たな考え方が生まれました。」、デジタルシティズンシップ研修では、「理解が曖昧だったことを専門家から教えていただき、よく分かりました。自分の子どもにも当てはまることで、保護者の視点からも有益な研修でした。」など、研修を通して、新たな視点や考えを得ることができたという感想が多く見られました。

私からの報告は、以上となります。

○川嶋委員 他に質問ございませんか。

質問なしと認めます。

○川嶋委員 本日の議事は終了いたしました。

8 閉 会

○小林教育長 以上で、定例教育委員会を閉会いたします。